



平成17年 6月 8日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機の原子炉手動停止について

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力116万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、6月5日に実施した格納容器内監視カメラによる点検で1次冷却材ポンプ（C）ループ室地下2階床面等に付着物が確認されたことから、翌6日に同室内に入域し、付着物を採取して分析した結果、1次冷却材中に含まれる放射能とホウ酸が確認されました。

なお、同室内には水たまりや水滴の滴下は認められず、1次冷却材の漏えいを監視している格納容器サンプ水位や格納容器内の放射線モニタ等に有意な変化は認められませんでした。

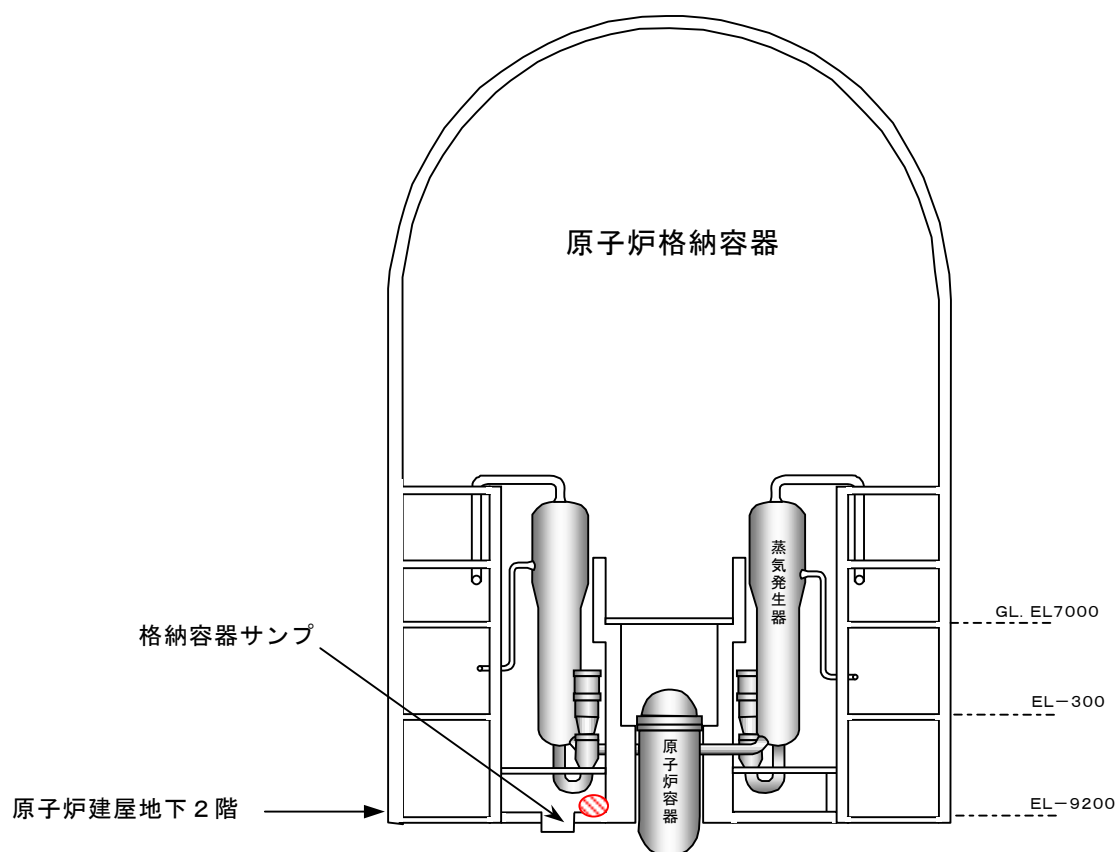
同室内は運転中の放射線量率が高いことから、漏えい箇所の特定制や詳細な点検調査を行うため、6月9日3時頃より出力降下を開始し、同日11時頃、発電を停止する予定です。

なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

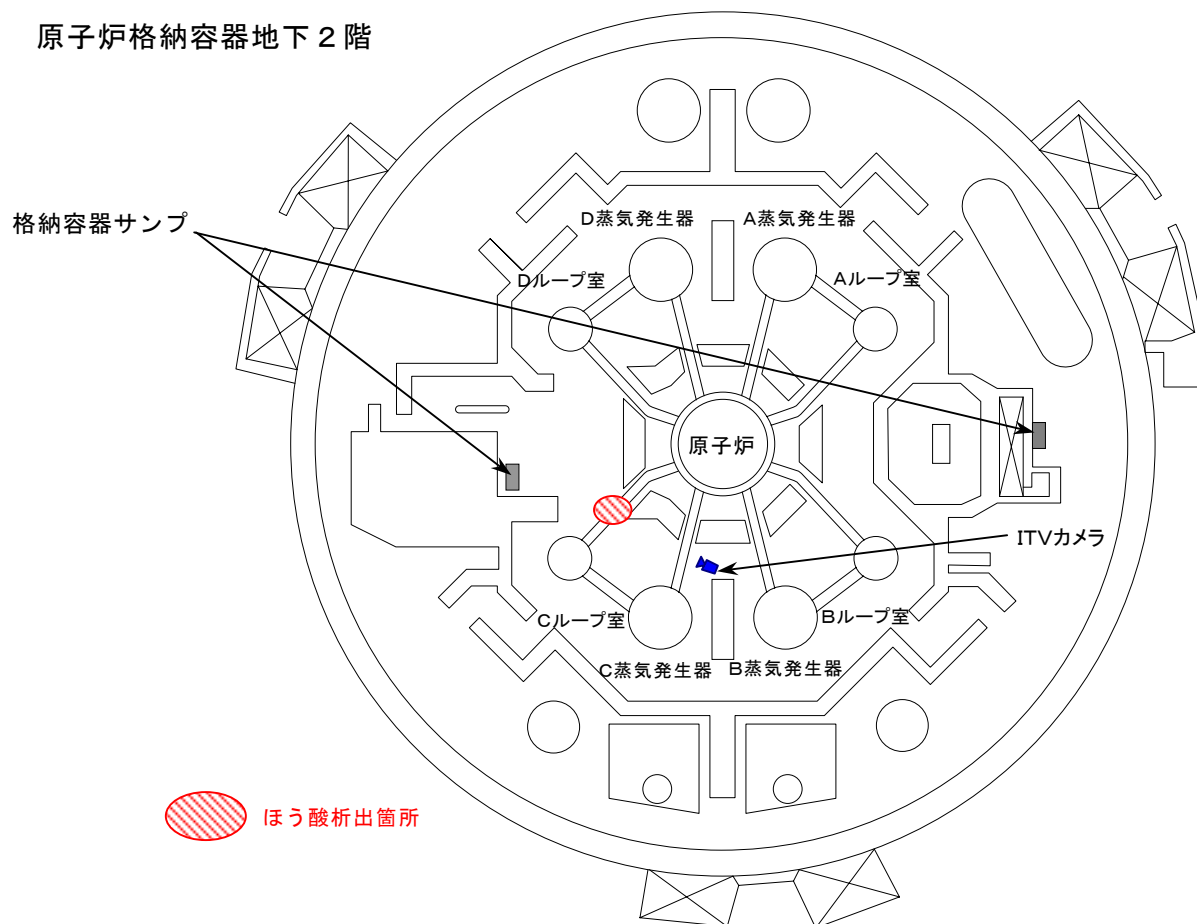
添付資料 ほう酸析出箇所図

以 上

ほう酸析出箇所図



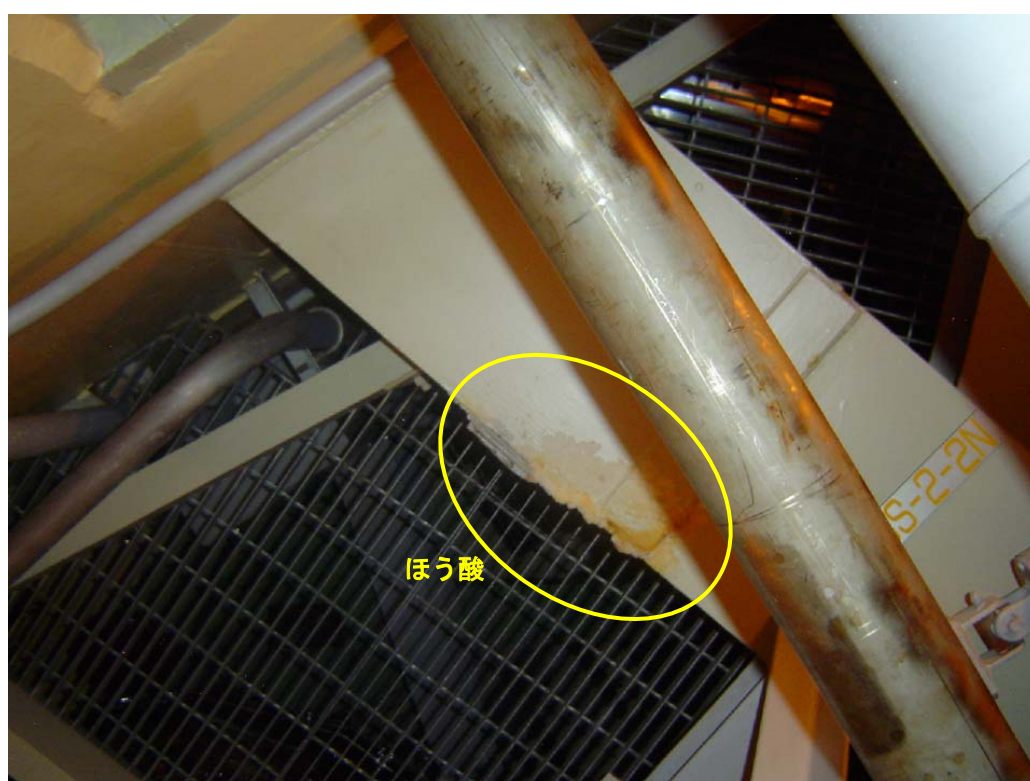
原子炉格納容器地下2階



現 場 状 況 写 真



原子炉格納容器地下2階床面



上 部 H 鋼 部